

e-pile next

相模原機材センターのご紹介

今回は本社から車で5分程にある相模原機材センターをご紹介します。
当機材センターでは主に重機・車両の日常点検や整備等が行われている他、
杭材料・備品のストック、製品開発・性能試験や杭工事には欠かせない、
治具・付帯部品の加工・製造など幅広く活用しております。

工事中のこんな時…



現場でのアクシデント、杭材料の不足や
施工機械のトラブルでは、**自社保有**、
自社対応ならではの迅速さでお応えします。



当社では、これからも鋼管杭メーカーとし、
「お客様から必要とされる」会社を目指し社員一同、努力してまいります。



e-pile next

国土交通省大臣認定工法



全ての鍵は杭先端にあり

公共土木・公共建築での活用拡大
国土交通省「NETIS」

登録番号：KT-160071-A

・国土交通大臣認定 TACP-0483 砂質地盤(礫質地盤含む) TACP-0484 粘土質地盤	・日本建築センター BCJ評定-FD0540-01 砂質地盤 BCJ評定-FD0541-01 礫質地盤 BCJ評定-FD0542-01 粘土質地盤	基礎評定(引抜支持力) 砂質地盤 礫質地盤 粘土質地盤
--	--	--------------------------------------

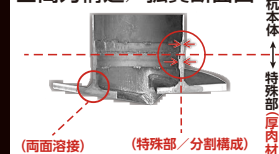
・日本環協協会
エコマーク認定 08 131022号

■ 全ての鍵は杭先端にあり

杭基礎は建物荷重を支持地盤へ伝達させる最も重要な役割であり、
故に、杭先端拡翼部の貫入(掘削)性、変位・変形・破断などを
発生させない高い性能が要求されます。

- 貫入性の問題を…「**菱型穴**」により解決しました。
- 拡翼変形の問題を…「**特殊部**」により解決しました。
- コストの問題を…「**自社施工**」により解決しました。

■ 高力構造/拡翼断面図



■ FEM解析図



建築・土木・鉄道、さまざまな場面で活躍しております。

e-pile

検索



マスクや消毒液やトイレットペーパーの状況 ~不足を解消するために官民連携して対応中です~

■マスクの転売禁止

- ①小売店舗やネットサイト等から購入したマスクを、
- ②購入した金額よりも高い価格で、③インターネットや店舗等を通じ不特定または多数の者へ転売することが禁止されます。

国民生活安定緊急措置法に基づくマスクの転売規制について

(国民生活安定緊急措置法第28条第1項に基づき、譲渡の制限措置の導入)



※1 一般消費者に対して直接販売する製造事業者、卸売事業者や個人も含む

※2 店舗、フリーマーケットや店舗、インターネット(SNS含む)等を通じた不特定または多数の者への販売行為

対象: **衛生マスク**

繊維質マスクをはじめ、医療用マスクや防護マスク等、一般に販売されているマスク。衛生基準の維持等に用いられるマスクが幅広く含まれる。

違反者に対しては

一年以下の懲役
 若しくは **百万円以下の罰金**

3月15日
 より施行

よくあるご質問

- Q1. マスクをした方がよいのはどのような時ですか**
 マスクは、咳やくしゃみによる飛沫及びそれらに含まれるウイルスなど病原体の飛散を防ぐ上で高い効果を持ちます。咳やくしゃみ等の症状のある人は積極的にマスクを着用しましょう。マスクがない時はハンカチやタオルなど、口を塞ぐことができるもので代用することで効果があります。
- Q2. 感染対策の方法を教えてください**
 まずは、石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを、それができない場合にはアルコール消毒液で手指の消毒を行ってください。また、人混みの多い場所は避けてください。屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすときはご注意ください。
- Q3. アルコール消毒液がない場合には、どのような対策が効果的ですか**
 石けんやハンドソープなどで手洗いを丁寧に行うことで、十分にウイルスを除去できます。

Q4. トイレットペーパーやティッシュペーパーが不足していると思いますが、本当ですか?
 トイレットペーパーやティッシュペーパーが不足しているという情報が、SNS等で広がっていますが、不足していません。100%近くが国内生産であり、十分な在庫があります。一部店舗での品切れも、順次解消していく見通しです。消費者の皆様には、安心して落ち着いた行動をお願いするとともに、買占めや転売などの行為によって、必要な方にトイレットペーパーなどが届かないといったことがないように、ご理解とご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

経済産業省のお問い合わせ窓口
 電話: 0570-550-612
 受付時間: 9時~17時(土日祝日を除く)
 厚生労働省のお問い合わせ窓口
 電話: 0120-565-653
 受付時間: 9時~21時(土日祝日も実施)

※詳細は経済産業省のHPをご覧ください。

ワンポイント 健康コラム

新型コロナウイルス感染症に備えて ~一人ひとりができる対策を知っておこう~

感染症対策

1. 新型コロナウイルス感染症について

これまでに、人に感染する「コロナウイルス」は、7種類見つかっており、その中の一つが、昨年12月以降に問題となっている、いわゆる「新型コロナウイルス(SARS-CoV2)」です。このうち、4種類のウイルスは、一般の風邪の原因の10~15%(流行率は35%)を占め、多くは軽症です。残りの2種類のウイルスは、2002年に発生した「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」です。コロナウイルスはあらゆる動物に感染しますが、種類の違う他の動物に感染することは稀(まれ)です。また、アルコール消毒(70%)などで感染力を失うことが知られています。

どうやって感染するの?

現時点では、飛沫感染(ひまつかんせん)と接触感染の2つが考えられます。

(1) 飛沫感染

感染者の飛沫(くしゃみ、咳(せき)、つばなど)と一緒にウイルスが放され、他者がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。
 ※感染を注意すべき場面: 屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき



(2) 接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。未感染者がその部分に接触すると感染者のウイルスが未感染者の手に付着し、感染者に直接接触しなくても感染します。
 ※感染場所の例: 電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

2. 一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症対策は?

■新型コロナウイルスに感染しないようにするために

まずは、一般的な感染症対策や健康管理を心がけてください。具体的には、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを行うことができる限り混雑した場所を避けてください。また、十分な睡眠をとっていただくことも重要です。また、人込みの多い場所は避けてください。屋内でお互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすときはご注意ください。

(1) 手洗い

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などこまめに手を洗います。



(2) 普段の健康管理

普段から、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきます。

(3) 適度な湿度を保つ

空気が乾燥すると、のどの粘膜の防御機能が低下します。乾燥しやすい室内では加湿器などを使って、適切な湿度(50~60%)を保ちます。

■ほかの人につさないために

<咳エチケット>

咳エチケットとは、感染症を他者に感染させないために、咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。対面で人と人の距離が近い接触(互いに手を伸ばしたら届く距離でおおよそ2mとされています)が、一定時間以上、多くの人々との間で交わされる環境は、リスクが高いです。感染しやすい環境に行くことを避け、手洗い、咳エチケットを徹底しましょう。



経理マンが行く

最初の案出し

暗いニュースばかりで、気分が沈んでしまいますね。前向きな気持ちに切り替えて毎日明るく乗り切りましょう! すでに、先日「仕事ができるやつへの最短の道」という本を書いている著者のブログを読んでみました。本自体はそんなに絶賛されているわけでもないのですが、私には「なるほど」と頷けるものがありました。著者はどうすれば「仕事のできるやつ」になれるだろうかと、といった相談を若手の方からよくいただくそうです。「やっぱり論理的思考力を身につけるべきですか?」とか「英語ができたほうが良いですかね?」、「資格はとったほうが良いですか?」等々そういった質問もいただくそうです。もちろん、いずれも間違いではないのですが、著者が前職で学んだ事なかで、最も「仕事ができるようになる」ために重要だと思ったのはそのような話ではない、と話しは始まります。

それはある会議での事。会議のテーマは「集客」。新しいサービスを立ち上げてはみたものの、今ひとつお客さんの反応が悪い。そこで「これからどうすべきか」という話し合いを部門全体で行うことになりました。会議のメンバーは部門の主要メンバーで、若手からベテラン、部門長までが参加していました。著者はその司会進行役として会議に参加していましたが、実質的には部門長の現職の議事録をまとめる、という役割で、権限は部門長が握っています。会議はまず現状の報告から、売上状況、顧客の数、引き合いの推移、チラシの具体例から利益予測まで、様々なデータが提出されました。1時間程度の報告の後、部門長が口を開きます。「なにか考えがある人は発表してくれないか」。しばらくは沈黙ばかりで時間ばかりが過ぎましたが、まだ20代後半の若手が、手をそろそろと挙げます。「よろしいでしょうか」。部門長がうなずくと、彼はゆっくりと、自分自身に言い聞かせるように話し始めました。「ありがとうございます。では、意見を述べさせていただきます。

このサービスですが、調子が良くない理由は、「キャッチコピー」にあると考えます。部門長は先を続けるように促すと「従って、私が考える案は、キャッチコピーを以下のように変えることです。」と言い、彼は自分の考えてきたキャッチコピーを披露しました。ですが、会場からは苦笑ばかり。それもそのはず、彼が考えたというキャッチコピーは、どう見ても、集客できるようなクオリティではなかったからです。会場からは批判の声ばかりが上がり、「問題はキャッチじゃないでしょう、価格ですよ」、「このキャッチではねえ...」、等々。

質問、批判が相次ぎ、新人若手の彼は落ち込んでいましたが、部門長は「非常に良い意見。検討事項に加えよう。」と言い放ちました。その後、会議は「キャッチコピー」のみならず、新しい施策がまとまり、会議は終了しました。著者は会議が終わった後、部門長へ「なぜ、あのキャッチコピーを「良い意見」とおっしゃったのですか?」と質問します。すると部門長は「仕事で一番偉いのは誰だと思います?」と聞いてきます。著者が答えに困っていると部門長は「権限を持っていてもダメな奴はダメな奴です。どんな仕事でも、一番偉いのは「最初に案を出すやつ」なんです。批判なんてだれでもできる。」

でも、「最初に案を出す」のは勇気もいるし、なにより皆から馬鹿にされないように一生懸命勉強しなければいけない。だから、最初に案を出すやつを尊重するのは仕事では当たり前です。」と言ったそうです。

この言葉に著者は「目からウロコだった」と感想を述べていますが、私もです。それからは、若手から「仕事ができるようになるためにはどうすればいいですか?」という質問を受けた時には必ず、著者は「一番最初に案を出せるようになるように頑張る事」と回答するようにしているそうです。自分も廻りもそうあれば素晴らしい会社になりそうですね。

